

東村山ものしりシート

3

平成29年10月発行

じん じゃ 神社 - 6 やさかじんじゃ 八坂神社その2

★八坂神社（やさかじんじゃ）のことを、もっと知ろう！



おまつり

毎年7月15日に近い土曜・日曜日に、大きなおまつり（例大祭）が行われます。

土曜日は正福寺（しょうふくじ）から八坂神社まで、日曜日は八坂神社から正福寺まで、大だいこ、おみこし、山車、まつりばやしが町をねり歩きます。

大きなかけ声に合わせて大だいこがたたかれ、まつりばやしの笛の音がはなやかに鳴りひびき、おみこしを通る道には、見物の人がおおぜい集まります。

八坂神社にはお店がたくさん出て、食べものやゲームを楽しむ親子づれや、友だちどうして来る人などで、とてもにぎわいます。

また、日曜日には神社で「雅楽・浦安の舞」がささげられます。

おみこしのヒミツ★

- ・おみこしは、神様が神社を出る時の乗りものとされています。
- ・八坂神社のおみこしは、ふだんは野口町にある正福寺の境内にしまっています。

平成26年10月に行われた、市の50周年の式でもひろうされました。

雅楽・浦安の舞（ががく・うらやすのまい）って？

雅楽は、平安時代に宮廷やお寺・神社などで行われた音楽や舞のことです。

むかしから、八坂神社の近くに住むわかい人たちにつたえられつづけ、八坂神社のおまつりではかならず神様にささげられます。

雅楽には「笙（しょう）」「箏（ひちりき）」「竜笛（りゅうてき）」「羯鼓（かっこ）」「楽太鼓（がくだいこ）」などの楽器が使われ、「越天楽（えてんらく）」「五常楽（ごじょうらく）」

「抜頭（ばとう）」「鶏徳（けいとく）」などの曲があります。

浦安の舞には平和をねがう意味があり、「浦」は「心」を表しています。ふだんは見られませんが、八坂神社の例大祭や正福寺地蔵堂（しょうふくじじぞうどう）の「地蔵まつり」で、みんなも見ることができます。

八坂神社のむかしばなし

八坂神社には、神様がやどると考えられ、大切にされている木があります。その木について、むかしからつたわる『八坂神社のご神木』という、ちょっとこわ〜いお話があります。

★どんなお話かは・・・

チャイロ『東村山の昔話』（89ページ）

を見てね！

※まつりばやしと、雅楽・浦安の舞は、市の無形民俗文化財です。

さんこうにした本・情報

アカ70 『ひがしむらやま ぶんかざい めぐるっく』（石川正行、東村山ふるさと歴史館）

チャイロ 『東村山の昔話』（池田宗弘、白馬書房）

東村山市ホームページ — 東村山の楽しみ方 — 余暇を楽しむ — 市内のお祭り — 八坂神社の例大祭 ほか